

平成28年度大学満足度調査結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的・内容

大学生活で経験した教育（教育環境を含む）についての評価を把握し、教育改革等に役立てるための基礎資料とするもの

(2) 調査対象・時期

新2年生以上は原則、年度当初の学部別ガイダンスに実施

前年度卒業生は原則、卒業式当日に実施

(3) 調査方法

無記名アンケート用紙への記入

(4) 回答率

全学 76.9%

(医学部 85.6%、薬学部 74.7%、経済学部 82.4%、人文社会学部 68.2%、芸術工学部 64.3%、看護学部 88.3%)

2 調査結果の集計方法について

回答をポイントに換算し平均点をとる方法、すなわち、大学満足度調査版 GPA で調査結果を出しています。肯定的か否定的かを明確にするよう「強くそう思う」、「そう思う」、「それほど思わない」、「まったく思わない」の4段階で回答させ、

強くそう思う = +3

そう思う = +1

それほど思わない = -1

まったく思わない = -3

とポイントをつけました。したがって、評価点は-3 から+3 の間の点数となり、次のような意味を持つこととなります。

+3	全学生が完全肯定したことを意味し、現実にはあり得ないと思われる。
+1.2	+3 が 20%、+1 が 70%、-1 が 10%、-3 が 0% の場合が相当し、極めて肯定的意見が多いことを意味する。
+0.6	+3 が 20%、+1 が 50%、-1 が 20%、-3 が 10% の場合が相当し、かなり肯定的意見が多いことを意味する。
0	肯定的意見と否定的意見が拮抗することを意味する。
-0.6	+0.6 の逆であり、かなり否定的意見が多いことを意味する。
-1.2	+1.2 の逆であり、極めて否定的意見が多いことを意味する。
-3	全学生が完全否定したことを意味し、現実にはあり得ないと思われる。

3 調査結果の信ぴょう性

3ヶ年の経年変化を見たとき、若干の上下はあるものの、学部毎に値が安定的に推移しています。調査対象の学生が入れ替わっても調査結果の変化が少ないことは、学部毎の体質ないし体制の変化が少なく、学生による評価が固定していることを意味し、その調査結果は信用に足るものであると考えられます。

4 評価点に対する総合評価

- ① 評価点が+1.2を超える（極めて満足度の高い）項目については、現時点では特に問題はないことになるが、今後も高い評価を受け続けるようにすべきと思われます。
- ② 評価点が+0.6を超える（かなり満足度の高い）項目については、緊急度は低いものの、さらに満足度を高めるべく努めるべきであろうと考えられます。
- ③ 評価点が0～0.6である（不満足というほどではないが満足度が低い）項目については、満足度を高める努力が必要と考えられます。
- ④ 評価点がマイナスである項目は、早急な対策が必要と考えられます。
- ⑤ 評価点が-0.6以下である項目は、特に緊急に対応すべきであると考えられます。

上述の判断を踏まえて、評価点を次のように総合評価しています。

評価点	意味	総合評価
+1.2を超える	極めて満足度が高い	S
+0.6を超え+1.2以下	かなり満足度が高い	A
0を超え+0.6以下	不満足というほどではないが満足度が低い	B
0以下で-0.6まで	満足している者よりも不満足な者の方が多い	C
-0.6以下	かなり満足度が低い	D

5 項目別学部別評価結果

凡例 A ⇒ 26年度から28年度まで継続的にA

ABC ⇒ 28年度 A、27年度 B、26年度 C

☆：昨年C以下の評価から、今年B以上の評価となった項目

★：昨年B以上の評価から、今年C以下の評価となった項目

網掛け部分：今年CまたはD評価である項目

	医学部	薬学部	経済学部	人文社会学部	芸術工学部	看護学部
Q5 現在の自分について						
①名古屋市立大学に入ってよかった	A	A	A	ASS	AAS	SSA
②大学生活は自分にあっている	A	A	A	A	A	ASA
③大学は自分の期待どおりであった	B	B	B	B	B	B
Q6 大学での目標について						
①自分の進みたい職業分野がある	S	S	ABA	AAB	A	S
②大学は自分の将来のためになると思う	S	S	A	A	S	S
③大学で学んだことで将来を決めたい	S	S	B	B	A	S
④大学にきた理由を答えられる	S	A	B	BAB	A	S
Q7 授業への自分の取り組みについて						
①授業に集中できている	B	B	B	B	B	B
②勉強する意欲がわく	ABB	B	★BCB	B	B	B
③いい成績をとりたいと思う	ABB	A	A	A	A	A
Q8 これまで受けてきた授業内容（教養教育）について						
①やりがいのある授業があって充実している	B	B	B	B	B	B
②カリキュラム（科目構成・学年配当など）は適切である	★CBC	B	ABB	BAB	B	AAB
③教養教育で英語を学んで良かった	C	C	B	BAA	★CBB	BBC
④教養教育で多様な価値観にふれることができて良かった	B	B	A	A	B	B

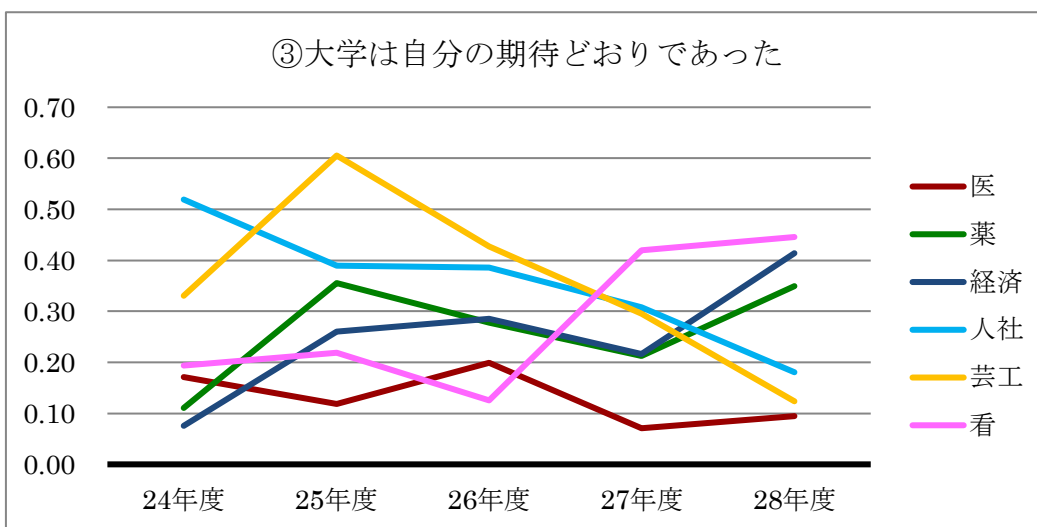
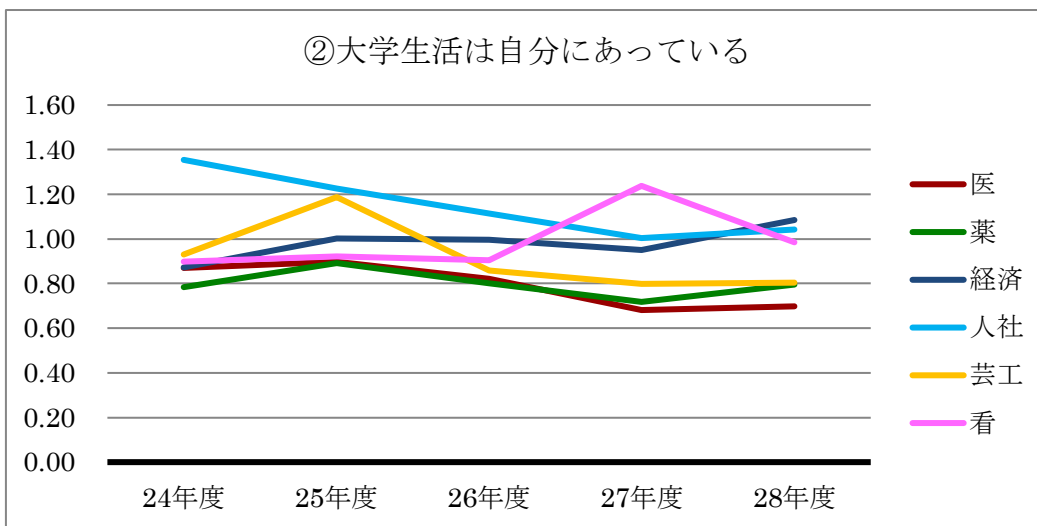
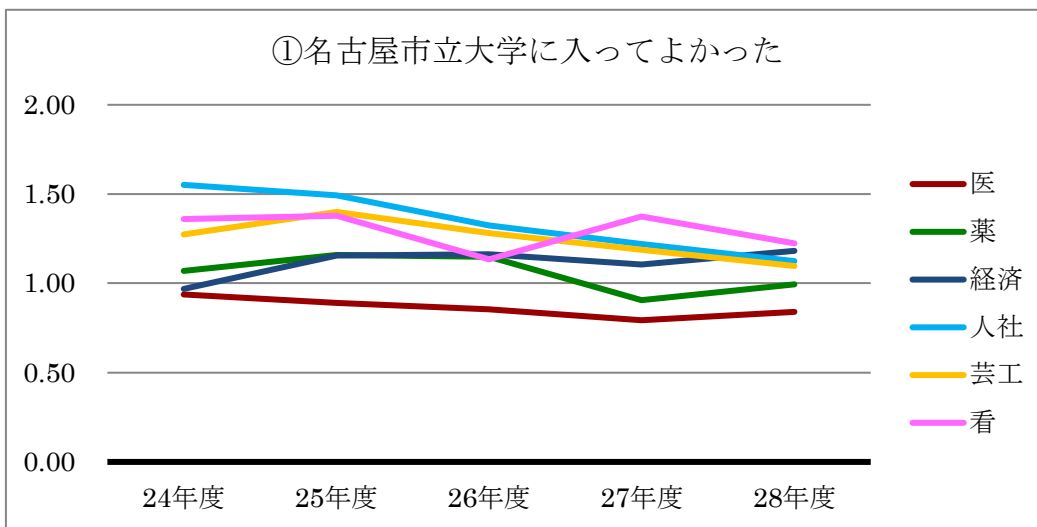
		医学部	薬学部	経済学部	人文社会学部	芸術工学部	看護学部
Q 9 これまで受けてきた授業内容（演習、実習等を含む専門教育）について							
	①知的刺激を感じる授業に出会った	A	A	A	S	SAS	ASA
	②カリキュラム（科目構成・学年配当など）は適切である	★CBB	B	AAB	A	BBA	AAB
	③授業で学んだことは自分のキャリア形成に役立つ	A	A	ABB	B	A	S
	④主体的に学び考える授業に出会った	B	B	ABB	A	A	A
Q 1 0 授業への教員の取り組みについて							
	①理解度を確認しながら授業を進めている	BBC	B	B	B	B	ABB
	②教え方は理解しやすい	B	B	B	BBA	B	AAB
	③学生の声に耳を傾けてくれる	B	A	B	B	B	A
	④相談しやすい	BBC	B	☆BCC	CCB	☆BCB	B
	⑤授業に熱意をもっている	AAB	A	ABB	A	BAA	A
Q 1 1 授業の全体的な印象について							
	①全体として、授業を楽しむことができた	B	B	B	A	BAA	AAB
	②いろいろな授業から知的刺激をうけた	A	A	ABA	A	A	A
	③全体として、これまでのところ大学での授業の経験には満足している	B	A	ABB	A	A	A
Q 1 2 事務室・図書館や課外活動について							
	①大学職員の対応は適切である（H26は「大学職員の対応は満足できる」）	BBC	BAB	BBC	B	★CBC	BBC
	②教室などの学習施設は充実している	C	A	B	B	B	B
	③図書館は充実している	CCB	BAA	AAB	B	A	B
	④食堂・喫茶等から提供されるメニューの質や価格に満足している（H27 新設項目）	C	C	C	C	C	B
	⑤大学が提供する、食堂・喫茶等の施設に満足している（H26は「食堂・喫茶等の施設は充実している」）	CCD	C	CDD	CCD	CCD	CCD
	⑥目的にあった、充実した課外活動ができ、満足している（H27 新設項目）	B	B	B	B	B	B
	⑦課外活動のための施設・備品等は、充実している（H26は「課外活動のための施設は充実している」）	CCD	BBC	C	C	BBC	☆BCC

学部		医	薬	経	人	芸	看
質問項目数		33					
今年CまたはD（網掛け部分）の項目数		8	3	3	4	4	1
内訳	昨年もCまたはDであった項目数	6	3	3	4	2	1
	昨年B以上から今年新たにCまたはDになった項目数（★の数）	2	0	0	0	2	0
昨年CまたはDであったがB以上となった項目数（☆の数）		0	0	2	0	1	1

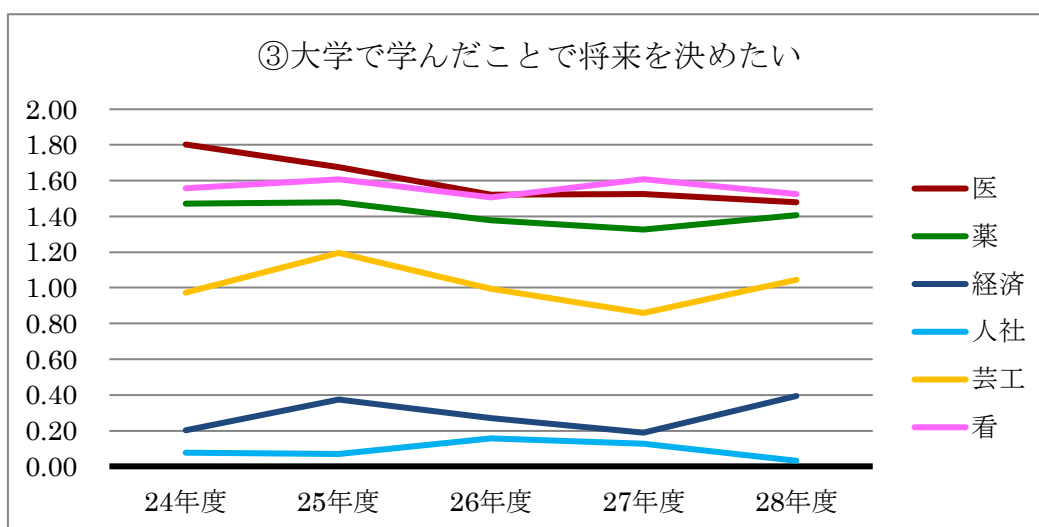
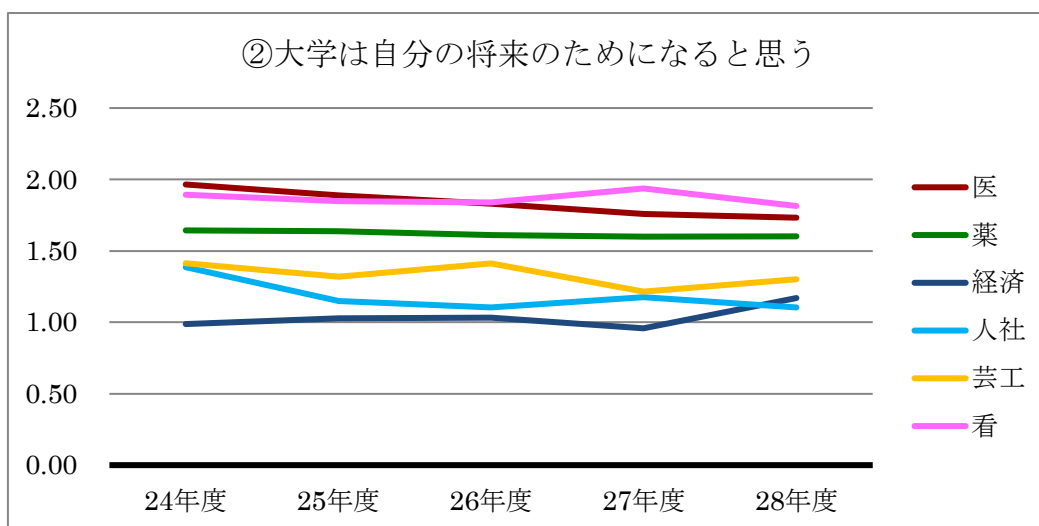
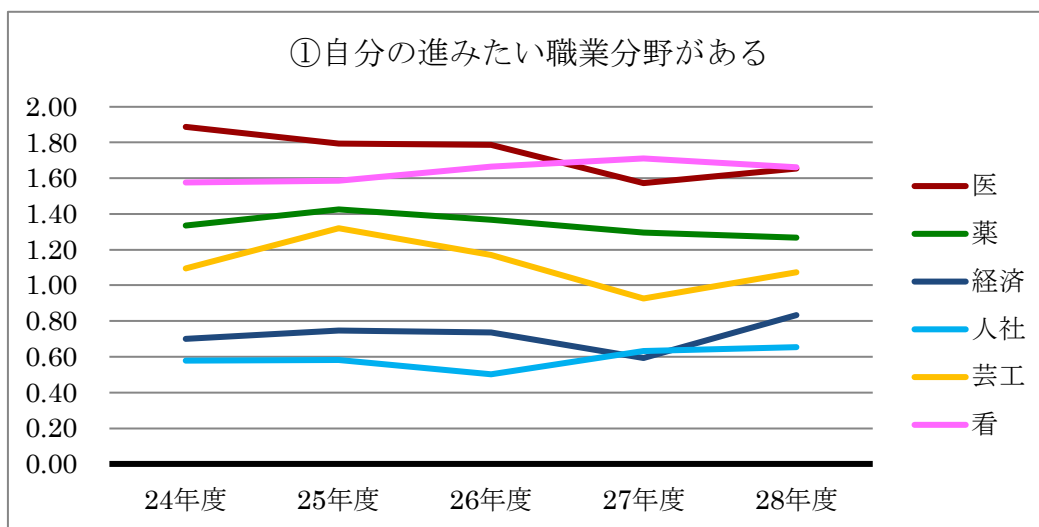
6 項目毎のコメント

- ① 「Q5 現在の自分について」の「①名古屋市立大学に入ってよかった」「②大学生活は自分に合っている」、「Q6 大学での目標について」の「②大学は自分の将来のためになると思う」の3項目は過去3年間全学部で総合評価がSないしAで、全体として本学に入学して学んでいることに満足していると考えられる。
- ② 「Q7 授業への自分の取り組みについて」は、「②勉強する意欲がわく」の項目で、昨年度C評価（マイナス評価）だった経済学部がB評価となり、全4項目においてすべての学部でB評価以上となった。
- ③ 「Q8 これまで受けてきた授業内容（教養教育）について」の「②カリキュラム(科目構成・学年配当など)は適切である」の項目では、医学部が再びC評価となった。「③教養教育で英語を学んで良かった」の項目では、昨年度までB評価だった芸術工学部がC評価となり、また、医学部、薬学部は引き続きC評価となっている。
- ④ 「Q9 これまで受けてきた授業内容（演習、実習等を含む専門教育）について」は、「②カリキュラム(科目構成・学年配当など)は適切である」の項目で医学部がC評価となったが、全体としてはA評価が多数見られ、とりわけ「①知的刺激を感じる授業に出会った」については3年間全学部で総合評価がSないしAとなった。
- ⑤ 「Q10 授業への教員の取り組み」は、「④相談しやすい」で昨年度C評価だった経済学部、芸術工学部はB評価に上昇したものの、人文社会学部でC評価となった。
- ⑥ 「Q11 授業の全体的な印象について」の3項目は、すべての学部においてプラス評価であり、A評価が多数みられる。
- ⑦ 「Q12 事務室・図書館や課外活動について」の「①大学職員の対応は適切である（H26は「大学職員の対応は満足できる」）は、昨年度はすべての学部でB評価以上であったが、今年度は芸術工学部がC評価となった。教室・図書館の充実については、昨年度に続き医学部のみでマイナス評価（C評価）となっている。また、食堂・喫茶等に関する項目は、ほぼすべての学部でマイナス評価となった。課外活動については、施設・備品等でマイナス評価の学部もあるが、活動自体については今年度も全学部でプラス評価（B評価）となった。

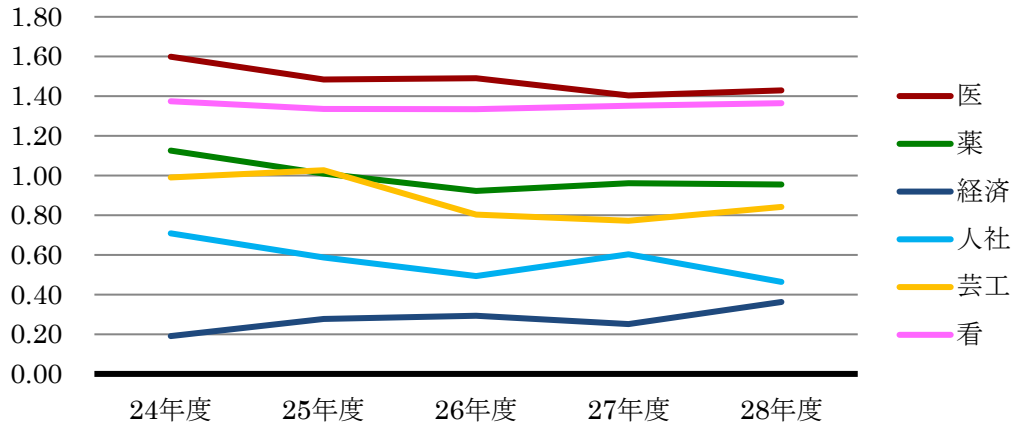
Q5 現在の自分について



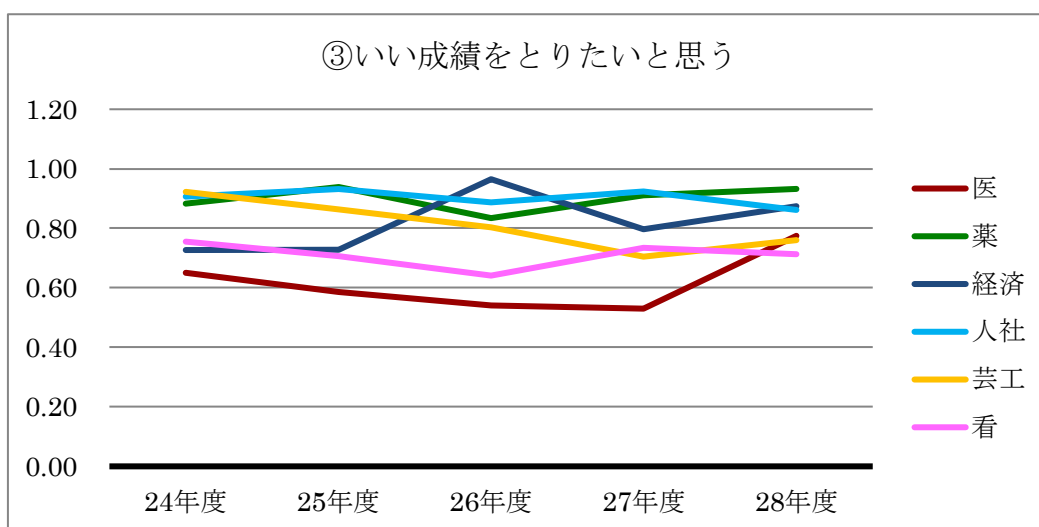
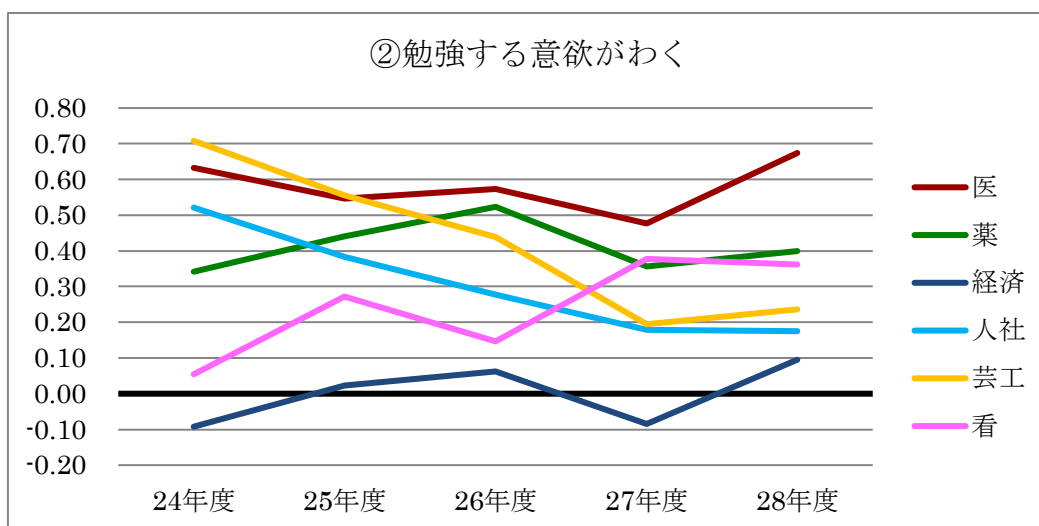
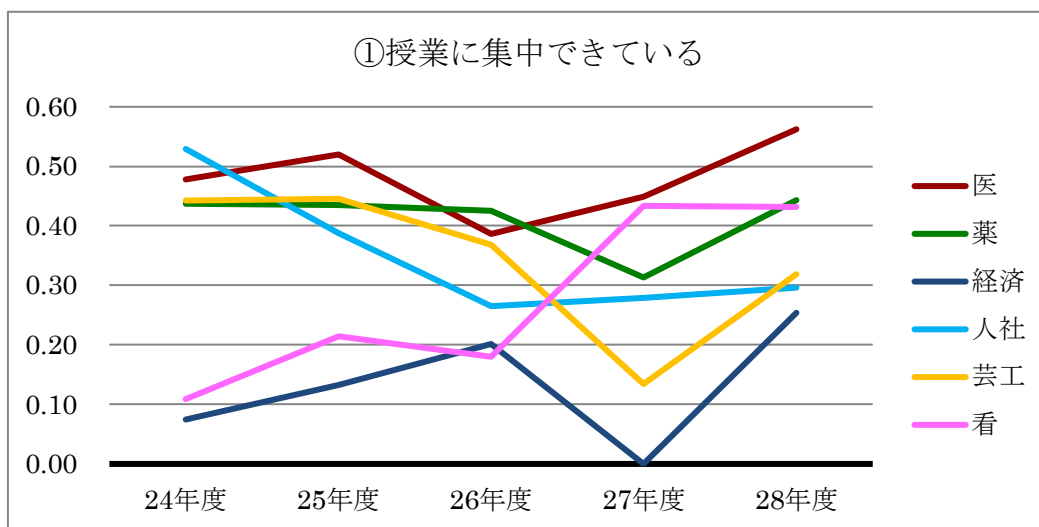
Q6 大学での目標について



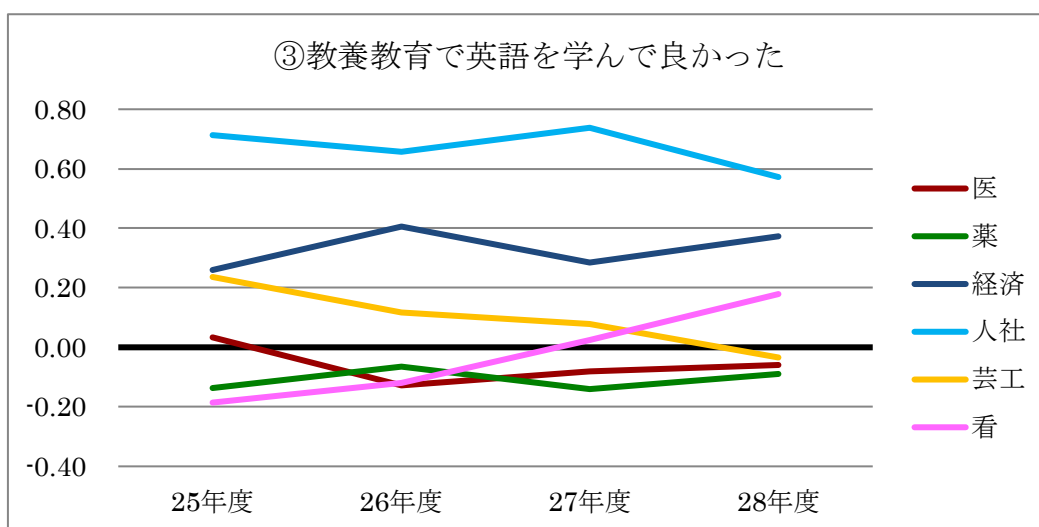
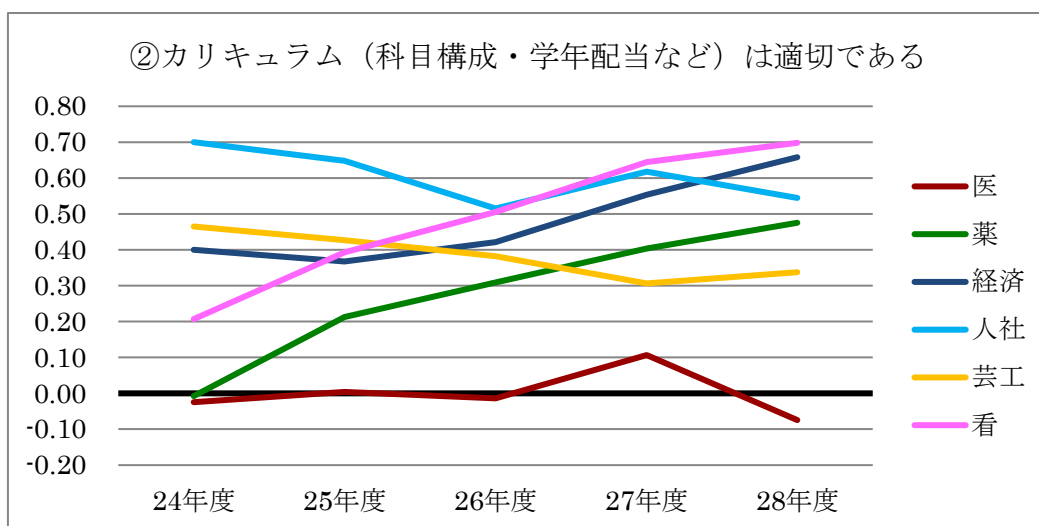
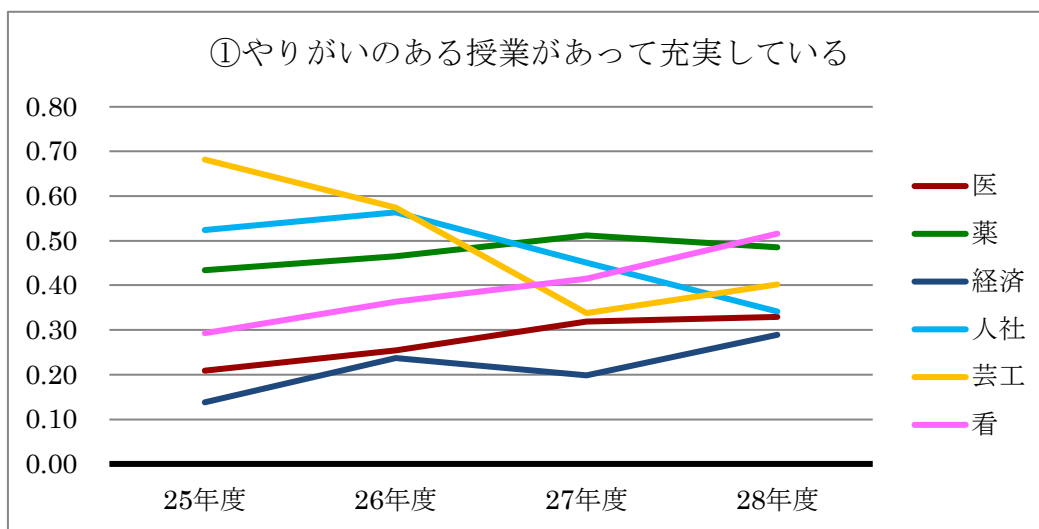
④大学にきた理由を答えられる



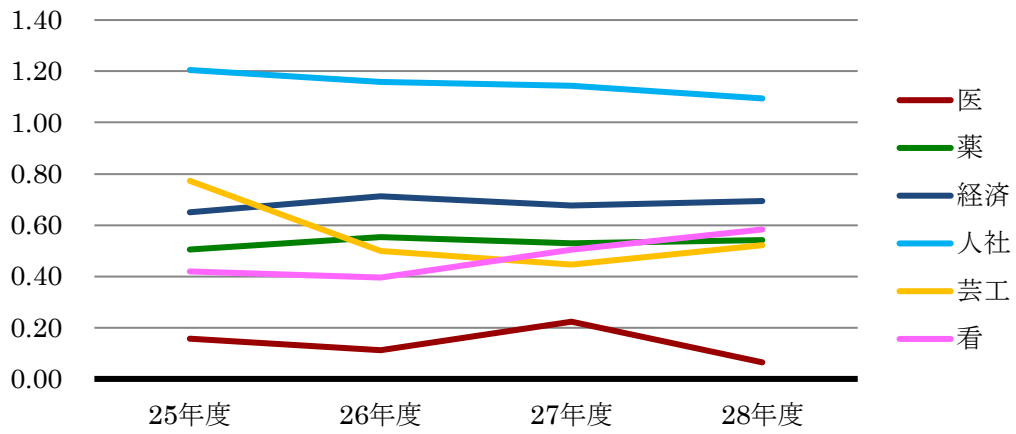
Q7 授業への自分の取り組みについて



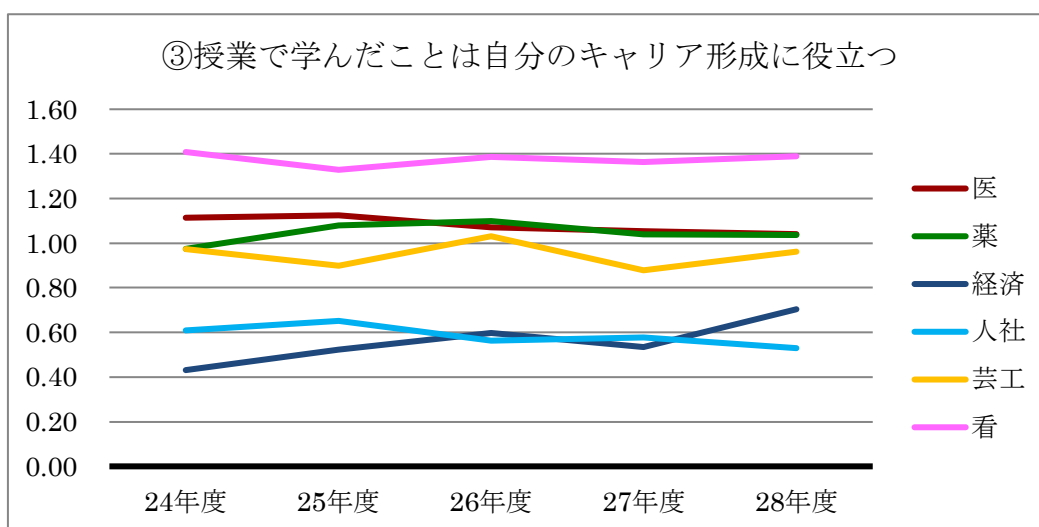
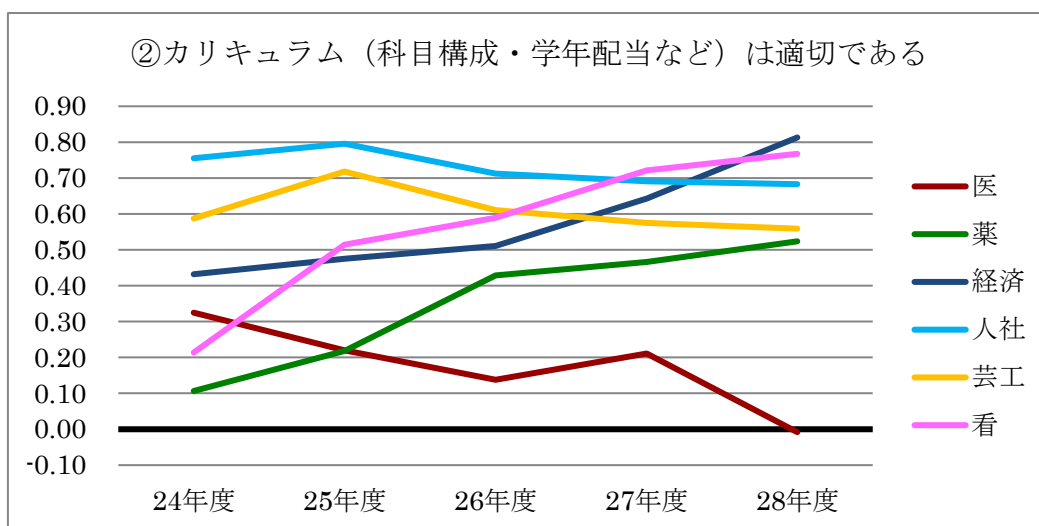
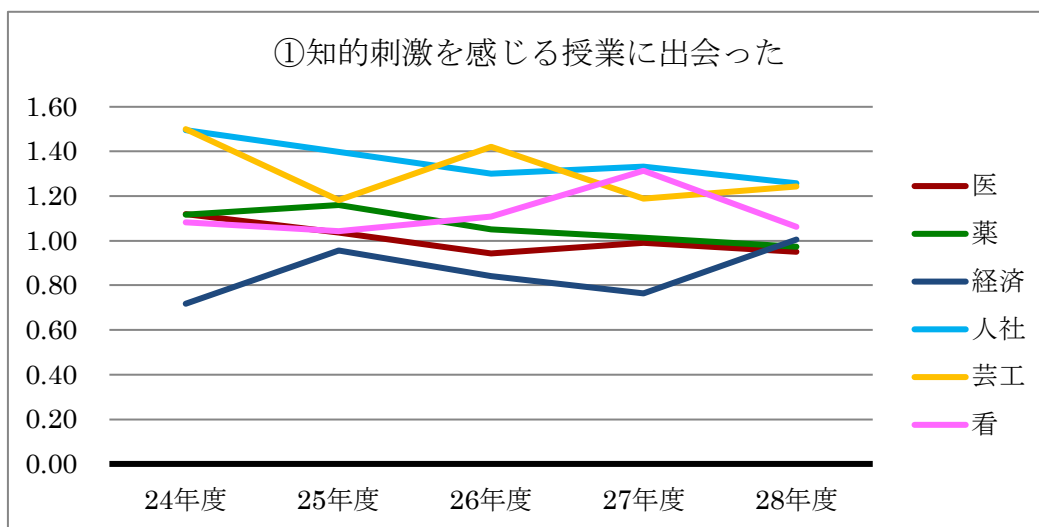
Q8 これまで受けてきた授業内容（教養教育）について



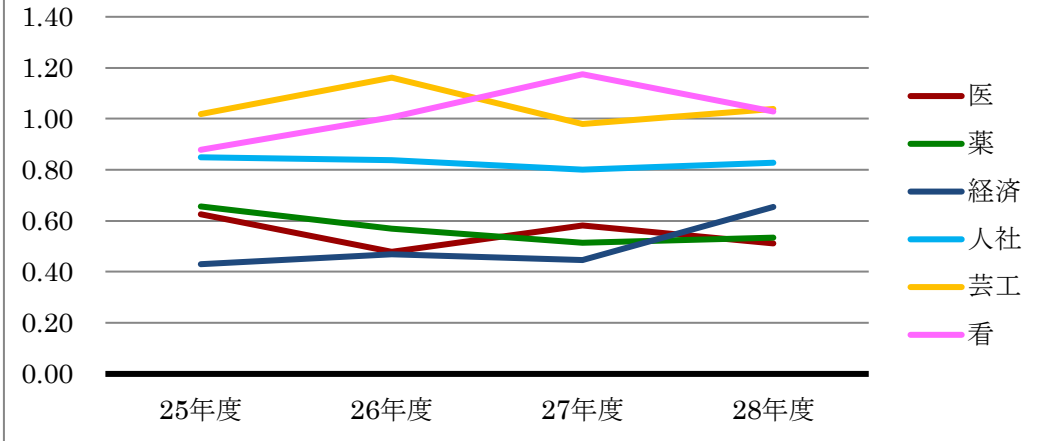
④教養教育で多様な価値観にふれることができて良かった



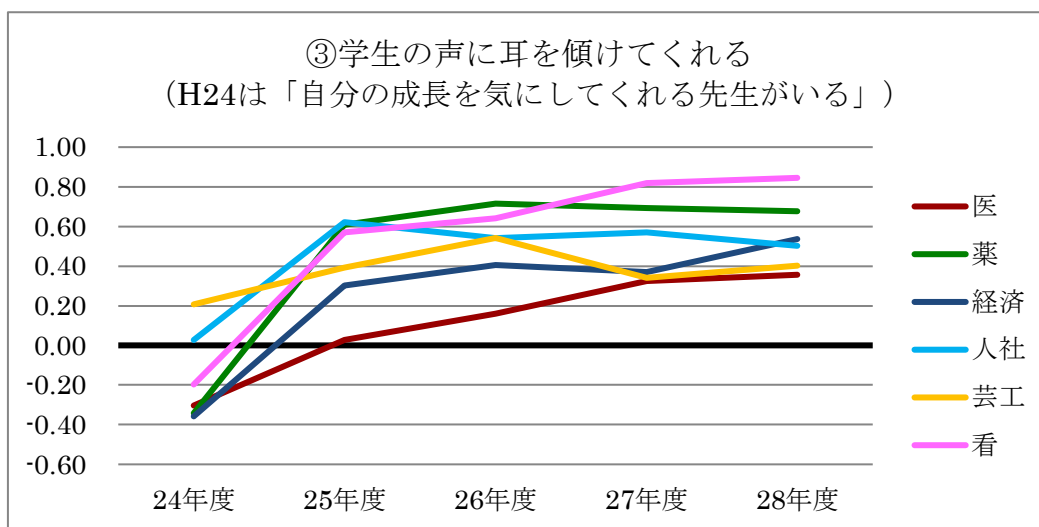
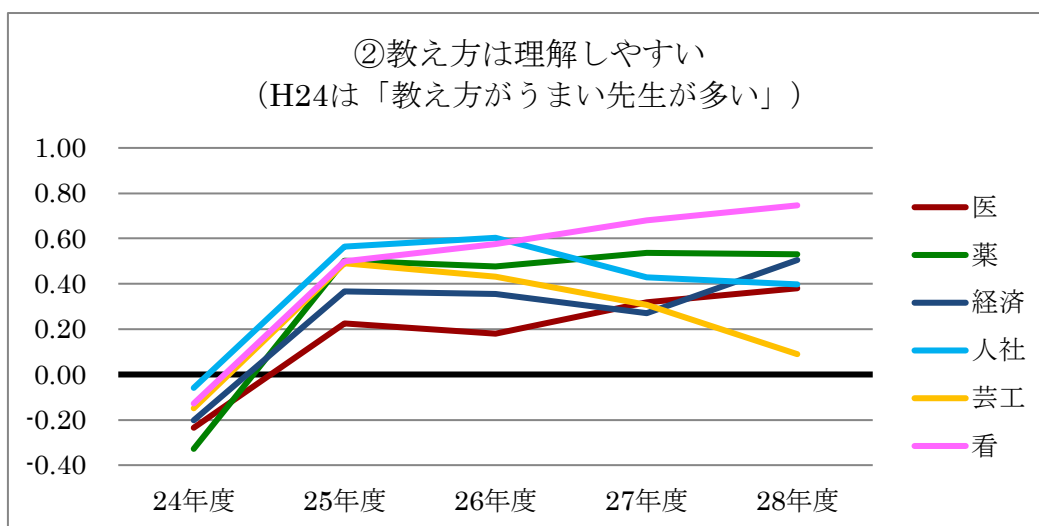
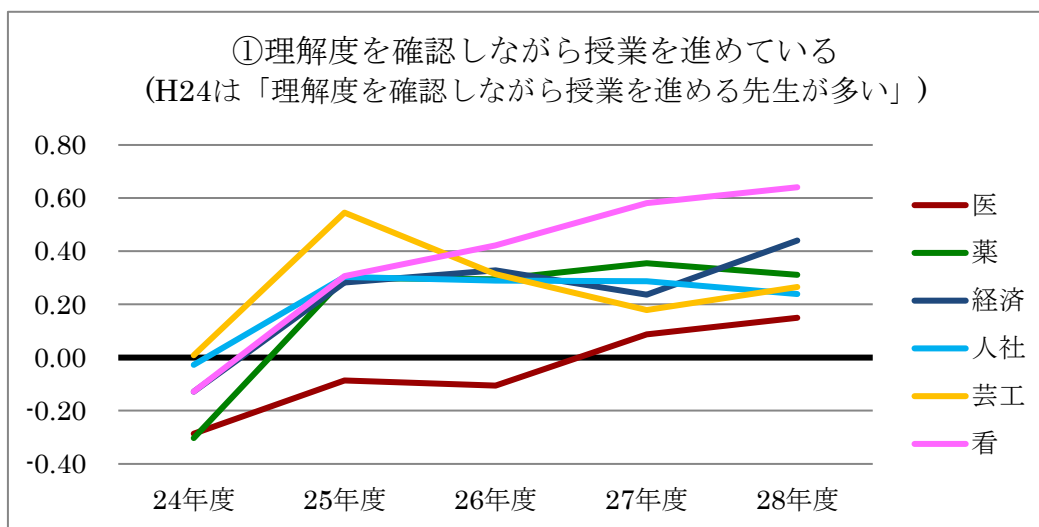
Q9 これまでに受けてきた授業内容（演習、実習等を含む専門教育）について

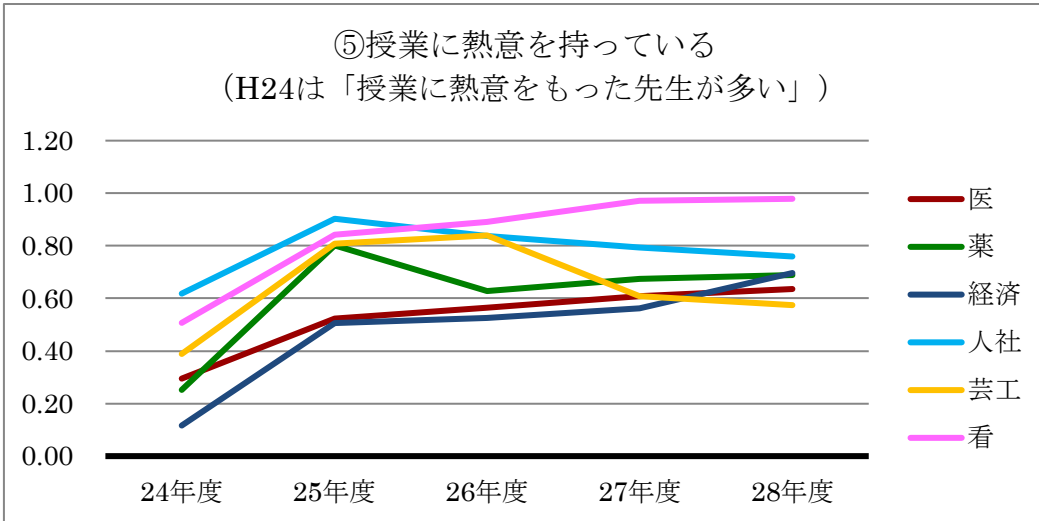
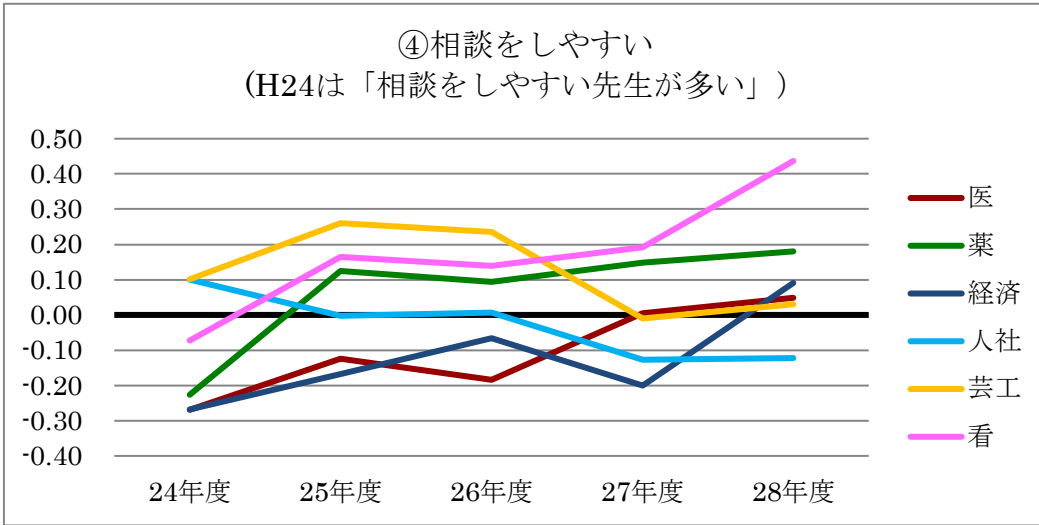


④主体的に学び考える授業に出会った

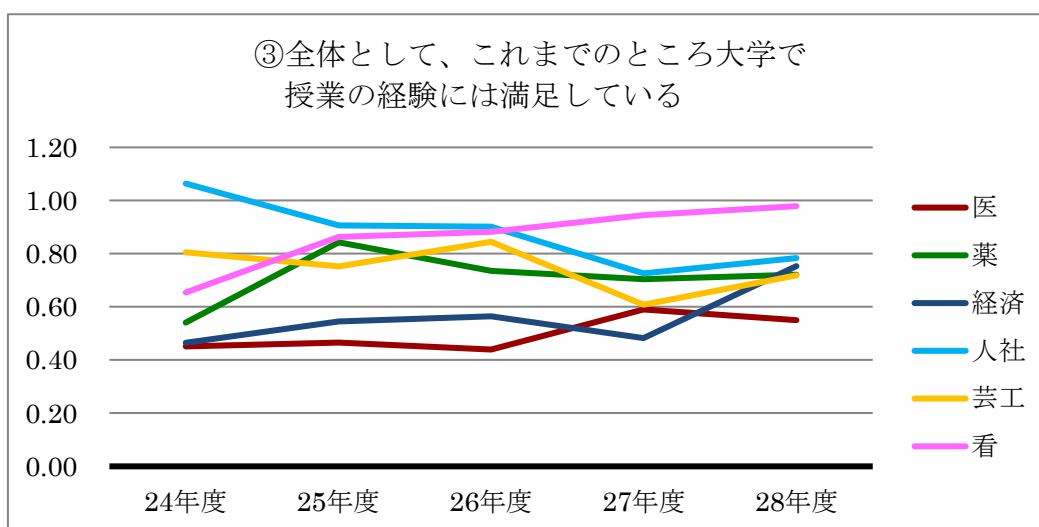
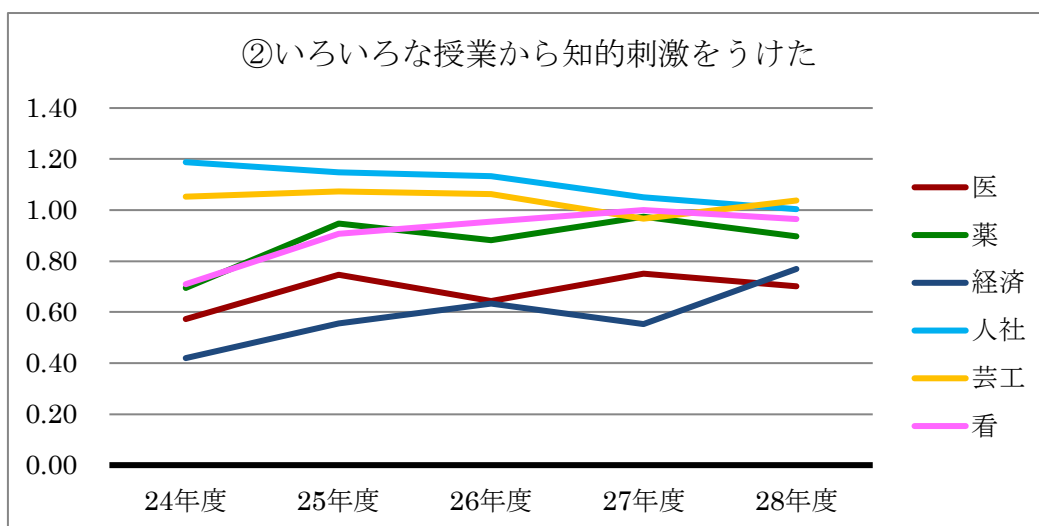
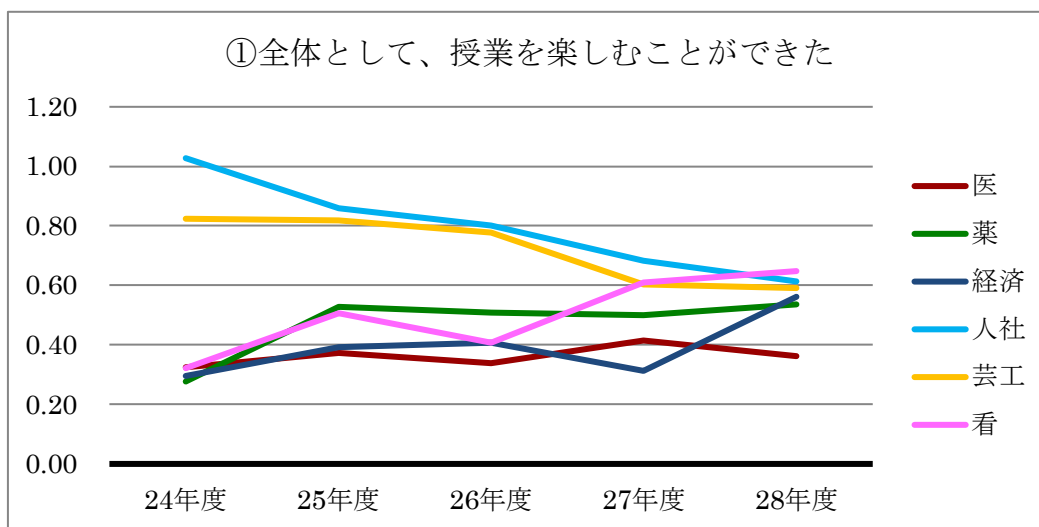


Q10 授業への教師の取り組みについて

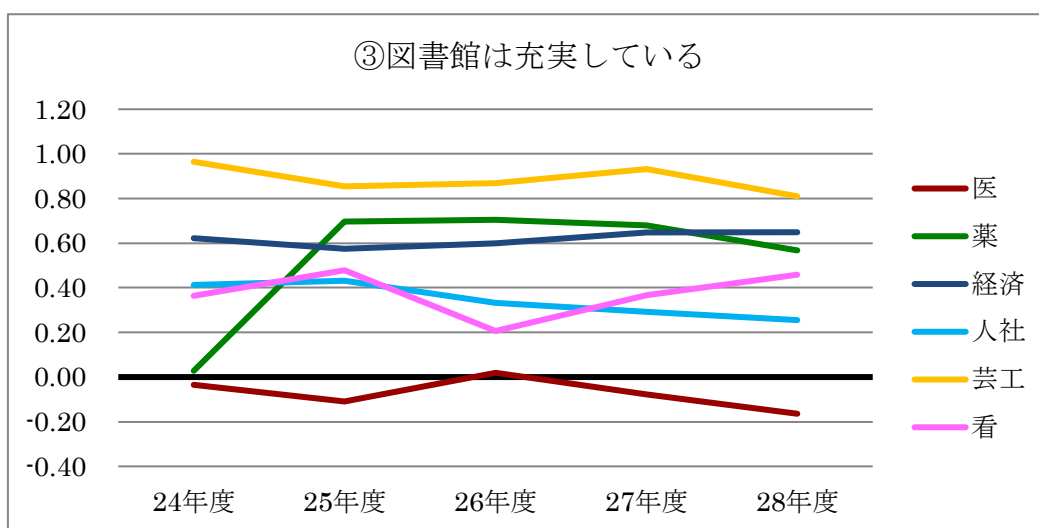
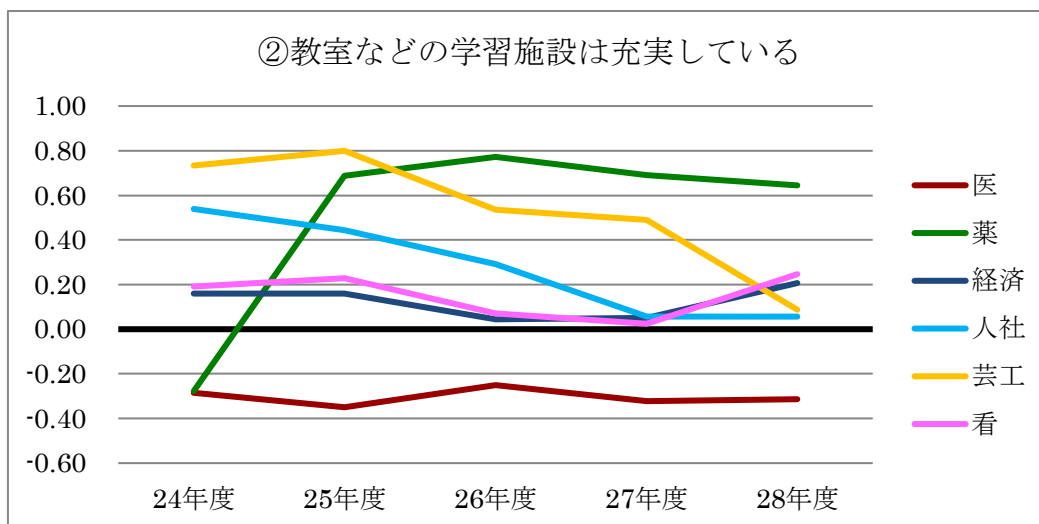
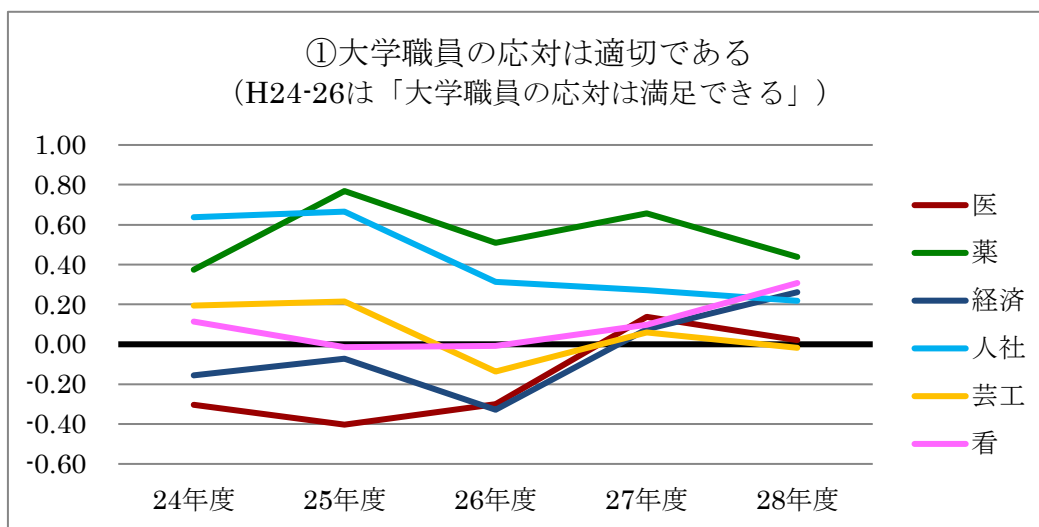




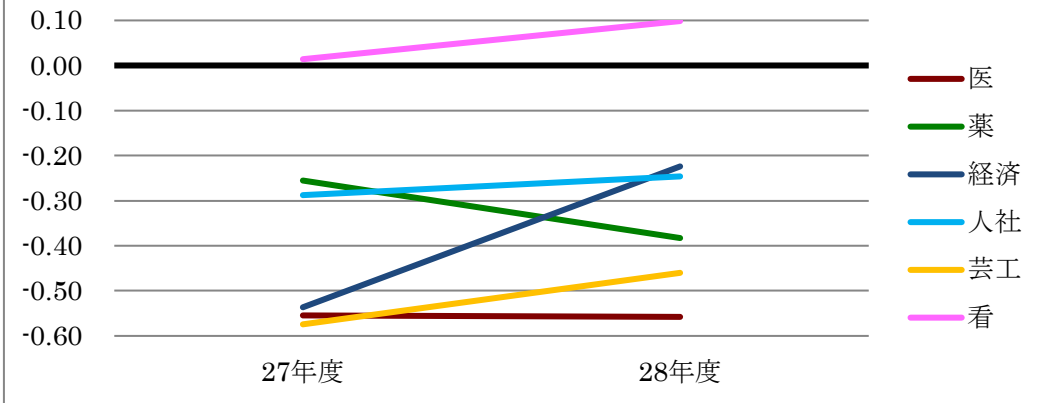
Q11 授業の全体的な印象について



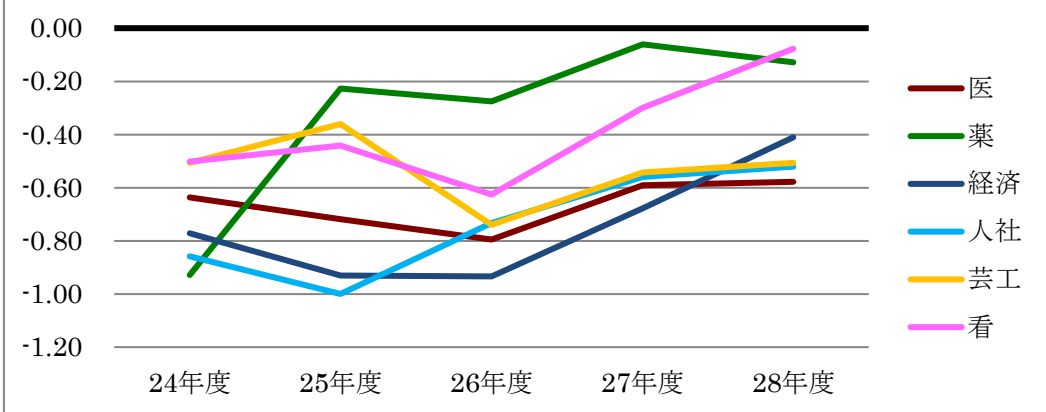
Q12 事務室・図書館や課外活動について



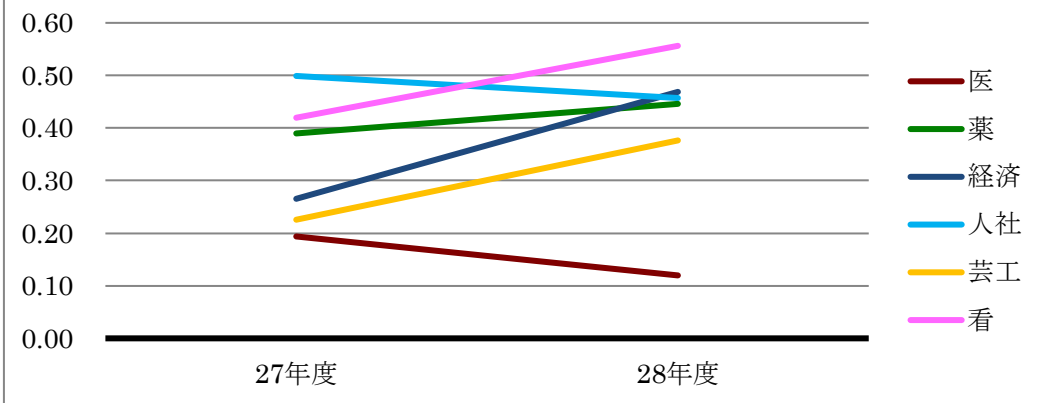
④ 食堂・喫茶等から提供されるメニューの質や価格に満足している (H27新設項目)



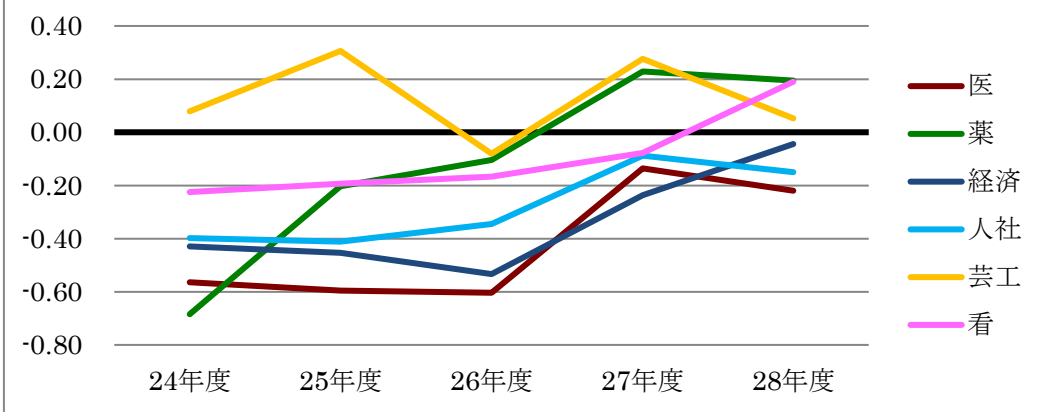
⑤ 大学が提供する、食堂・喫茶等の施設に満足している (H24-26は「食堂・喫茶等の施設は充実している」)



⑥ 目的にあった、充実した課外活動ができ、満足している (H27新設項目)



⑦課外活動のための施設・設備等は、充実している
(H24-26は「課外活動のための施設は充実している」)



～～「大学満足度調査」回答率および属性 直近3ヶ年の比較～～

◆回答状況

学部／学年	年度	調査対象者数								回答数	回答率
		2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計	卒業生	計		
医学部	28年度	114	96	98	93	111	512	72	584	500	85.6%
	27年度	105	98	93	112	73	481	87	568	455	80.1%
	26年度	110	95	111	73	87	476	79	555	427	76.9%
薬学部	28年度	113	101	142	62	66	484	117	601	449	74.7%
	27年度	104	139	118	59	64	484	120	604	468	77.5%
	26年度	140	114	116	62	65	497	105	602	386	64.1%
経済学部	28年度	237	232	238	-	-	707	242	949	782	82.4%
	27年度	247	243	229	-	-	719	258	977	808	82.7%
	26年度	244	225	258	-	-	727	259	986	799	81.0%
人文社会学部	28年度	213	204	229	-	-	646	202	848	578	68.2%
	27年度	200	202	216	-	-	618	209	827	520	62.9%
	26年度	204	181	199	-	-	584	200	784	498	63.5%
芸術工学部	28年度	107	103	103	-	-	313	104	417	268	64.3%
	27年度	104	104	100	-	-	308	93	401	299	74.6%
	26年度	104	100	82	-	-	286	95	381	326	85.6%
看護学部	28年度	84	87	75	-	-	246	78	324	286	88.3%
	27年度	92	75	78	-	-	245	83	328	288	87.8%
	26年度	84	77	83	-	-	244	83	327	312	95.4%
計	28年度	868	823	885	155	177	2908	815	3723	2863	76.9%
	27年度	852	861	834	171	137	2855	850	3705	2838	76.6%
	26年度	886	792	849	135	152	2814	821	3635	2749	75.6%

H26年回答数計(イタリックの部分)には、学部不明の1名を含む

Q1 あなたの性別

		男性	女性	無回答
全学	28年度	1297	1559	7
	27年度	1270	1564	4
	26年度	1201*	1541	7
医	28年度	334	162	4
	27年度	307	147	1
	26年度	301	126	
薬	28年度	199	250	
	27年度	224	243	1
	26年度	189	193	4
経済	28年度	499	282	1
	27年度	493	313	2
	26年度	462	335	2
人社	28年度	153	424	1
	27年度	117	403	
	26年度	110	388	
芸工	28年度	92	176	
	27年度	109	190	
	26年度	122	204	
看	28年度	20	265	1
	27年度	20	268	
	26年度	16	295	1

*学部不明の1名を含む

Q2. あなたの学年

		2年	3年	4年	5年	6年	卒業生	無回答
全学	28年度	714	687	621	148	128	565	0
	27年度	720	639	667	146	94	572	0
	26年度	724	657	599	80	88	599	1
医	28年度	99	83	80	85	94	59	
	27年度	94	76	83	102	60	40	
	26年度	80	69	96	63	61	58	
薬	28年度	90	91	102	63	34	69	
	27年度	89	117	91	44	34	93	
	26年度	105	82	73	17	27	81	1
経済	28年度	207	218	153			204	
	27年度	213	179	200			216	
	26年度	209	219	166			205	
人社	28年度	158	159	161			100	
	27年度	149	133	146			92	
	26年度	161	128	110			99	
芸工	28年度	87	72	52			57	
	27年度	93	85	71			50	
	26年度	89	82	73			82	
看	28年度	73	64	73			76	
	27年度	82	49	76			81	
	26年度	80	77	81			74	

Q3 あなたの所属学部・学科

		26年度	27年度	28年度
医学部	医学科	427	455	500
薬学部	薬学科	249	315	327
	生命薬科学科	137	153	122
	計	386	468	449
経済学部	学科未定(1年)	205	213	207
	公共政策学科	205	212	213
	マネジメントシステム学科	217	214	206
	会計ファイナンス学科	172	169	153
	不明			3
	計	799	808	782
人文社会学部	心理教育学科	185	179	193
	人間科学科			
	現代社会学科	155	176	215
	国際文化学科	158	165	170
	不明			
	計	498	520	578
芸術工学部	デザイン情報学科	82	18	2
	建築都市デザイン学科	145	141	120
	都市環境デザイン学科			
	情報環境デザイン学科	46	75	75
	産業イノベーションデザイン学科	53	65	71
	計	326	299	268
看護学部	看護学科	312	288	286

Q4. 授業(予復習を含む)以外の知識・教養(就職や資格を含む)を高めるための1日あたり平均学習時間【過去1年】

		0時間	30分以内	1時間以内	2時間以内	4時間以内	4時間を越える	無回答
全学	28年度	16.7%	33.8%	24.5%	11.8%	4.4%	6.7%	2.0%
	27年度	16.4%	32.8%	24.7%	12.4%	5.3%	5.9%	2.5%
	26年度	13.3%	33.8%	25.8%	11.7%	5.0%	8.5%	2.0%
医	28年度	14.6%	24.8%	23.0%	16.6%	6.6%	12.4%	2.0%
	27年度	19.1%	25.5%	21.3%	14.9%	7.3%	8.4%	3.5%
	26年度	10.8%	25.8%	25.1%	15.9%	5.9%	14.1%	2.6%
薬	28年度	16.7%	31.6%	32.1%	12.7%	3.1%	2.0%	1.8%
	27年度	15.2%	29.7%	27.6%	17.1%	3.8%	3.6%	3.0%
	26年度	9.8%	34.7%	31.9%	15.8%	3.6%	1.6%	2.6%
経済	28年度	21.5%	37.9%	20.8%	7.2%	3.6%	7.2%	1.9%
	27年度	19.3%	38.7%	23.9%	9.3%	3.5%	3.2%	2.1%
	26年度	15.4%	37.0%	24.5%	8.4%	4.0%	8.1%	2.5%
人社	28年度	16.8%	40.3%	21.8%	10.2%	2.9%	6.1%	1.9%
	27年度	15.8%	39.0%	23.7%	8.5%	4.6%	6.2%	2.3%
	26年度	16.7%	39.2%	26.1%	8.2%	5.6%	3.2%	1.0%
芸工	28年度	14.9%	31.3%	23.5%	14.9%	4.9%	7.8%	2.6%
	27年度	14.4%	29.4%	23.1%	10.4%	6.0%	13.4%	3.3%
	26年度	9.5%	23.0%	22.1%	14.7%	6.7%	21.5%	2.5%
看	28年度	9.1%	31.5%	31.8%	15.0%	7.3%	3.1%	2.1%
	27年度	9.4%	25.0%	31.6%	18.8%	9.7%	4.9%	0.7%
	26年度	14.1%	37.8%	25.6%	11.9%	5.1%	5.1%	0.3%